

①背びれの付け根から採血します②ジンベエザメの体に添って、メジャーで測定します③トレーニングの様子。ダイバーが水面で餌を与え、警戒させず垂直姿勢を維持するよう訓練します



ジンベエザメは成長すると全長18歳を超える世界最大の魚類です。大きな体をしていますが、海で食べているものは主にプランクトンです。大きな口で海水ごと取り込み、口の中にあるえらでこしとって食べます。えらの一部はスポンジ状になっており、とても細かい餌でも逃しません。

今展示している10代目ユウユウは2019年9月、全長3・6歳でかごしま水族館にやってきました。現在は全長4・7歳、推定体重720kgに成長。毎日、アミやオキアミを6kg与えています。

普段は悠々と水槽の中を泳いでい

ユウユウの立ち泳ぎ 健康管理に役立つ

ユウユウですが、時々、頭を水面に向けて立ち泳ぎのような体勢で同じ場所にとどまり、ダイバーに体を検査されている様子がみられることがあります。この垂直姿勢はジンベエザメ特有の行動で、自然下では餌を食べる時に見られます。海面に漂うプランクトンのような小さな餌を、効率よく口の中に集めることができるからです。ほぼ静止状態になるこの習性を利用して、定期的に身体測定や採血などで健康状態を診断しています。

ユウユウもすぐに診断を受けられるようになったわけではありません。1カ月ほどのトレーニング期間を経て、ダイバーとの信頼関係を築きました。このように健康に飼育するために動物に協力してもらい、安全に検査や治療ができるよう覚えさせる訓練は「ハズバンダリートレーニング」と呼ばれ、多くの水族館や動物園で取り入れられています。

(魚類展示係飼育員・土田洋之)